DENON
取扱説明書

DCD-1650SR

STEREO CD PLAYER

ステレオ CD プレーヤー

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

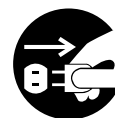
⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警 告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指を挟まれないよう注意

レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用になるときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■置き場所について

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

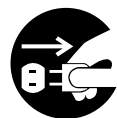
重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうとより効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ 結露後の処置は
◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。
◎ディスクに露がついている場合がありますので、きれいにふきとってください。

設置の際のご注意

■ 本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどをのせないでください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

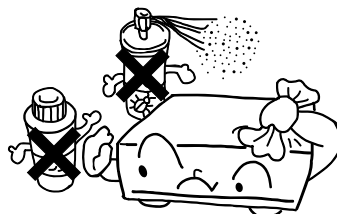
FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

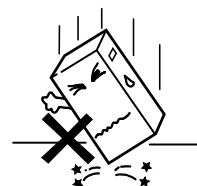
お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使い、軽くふきとってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

使わないときは

■ ふだん使わないとき
◎必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき
◎ 衝撃を与えないでください。

◎必ずディスクを取り出し、接続線をはずしたことを確認してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

3 本機の特長

本機は、次世代メディアを見据えて開発したDENON独自のアナログ波形再現技術AL24 Processingを搭載し、さらには、AL24 Processingのもつハイクオリティを最大限に活かし、D/A変換させるためにマルチ24bit D/Aコンバーターを採用している高級CDプレーヤーです。

1．AL24 Processing and Multi-24bit D/Aコンバーター

AL24 Processingは、従来のALPHA Processingの技術を継承し、より量子化歪みを低減し、次世代メディアのハイビット化にもハイサンプリング化にも対応させ開発をおこなったアナログ波形再現技術です。
AL24 Processingは、入力されたデジタルデータを手掛かりに、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近づくようにデジタルデータの補間をおこない、24bitのクオリティで再現することにより、音楽が静かに消えていく瞬間や無音から始まる瞬間などの低レベル再生時の音楽再生能力を高めました。
また、AL24 Processingにより得られた24bitのハイクオリティデータを忠実にD/A変換するため、マルチ24bit D/Aコンバーターを採用しています。マルチ24bit D/Aコンバーターは電源電圧（電流）の変動による影響を受けにくく、また帯域内量子化歪みレベルが周波数に無関係に一定していますので、ノイズの少ないクリアなサウンドの再生を聴くことができます。さらに、このD/Aコンバーターを片チャンネルあたり2個ずつ、差動で使用する4DAC構成とし、原理的にゼロクロス歪みの発生をなくす『ΛSLC』（ラムダスーパーリニアコンバーター）とも相まって、微少信号まで透明感があり音楽のニュアンスまでも表現します。

2．徹底した防振構造、鋳物トランスベース＆トランスケース

内部損失が大きく振動を伝えにくい鋳物ベースを振動の発生源であるトランスの取り付けベースに使用、さらに鋳物ケースのトランスを開発し、内部での振動による音質への影響を徹底して抑えています。
また、好評の『S. V. H. Loader』は、ディスク再生時には不要な物であるローダーを樹脂と金属を重ね合わせハイブリッド化することで振動を抑えています。さらに、ローダーには防振性の高いプロテイン塗装をおこなうことやローダーの両サイドを金属でしっかりと押さえたダブル・メタル・ガイド機構の採用など徹底した防振構造となっています。二重トップカバー、三重ボトムカバーで高い剛性を確保、外部からの振動による音質への影響も徹底して排除しています。

3．DUALトランスの採用

音の純度を守るため、オーディオ系とデジタル系とをトランスレベルで分離、DUALトランス構成としデジタル系からのオーディオ部への干渉を極力抑えています。電源コードにもインレットタイプの極太のACコードを使用し、電源のインピーダンスを抑えています。

4．CD-RWディスクの再生に対応

ファイナライズ処理をおこなったCD-Rディスク、CD-RWディスクの再生がおこなえます。

4 付属品について

★ 本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

電源コード　1本	ピンプラグコード　1本	リモコン（RC-281）　1個 単3形乾電池　2本
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書 （梱包箱に貼り付けられています）

ご注意

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

5 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

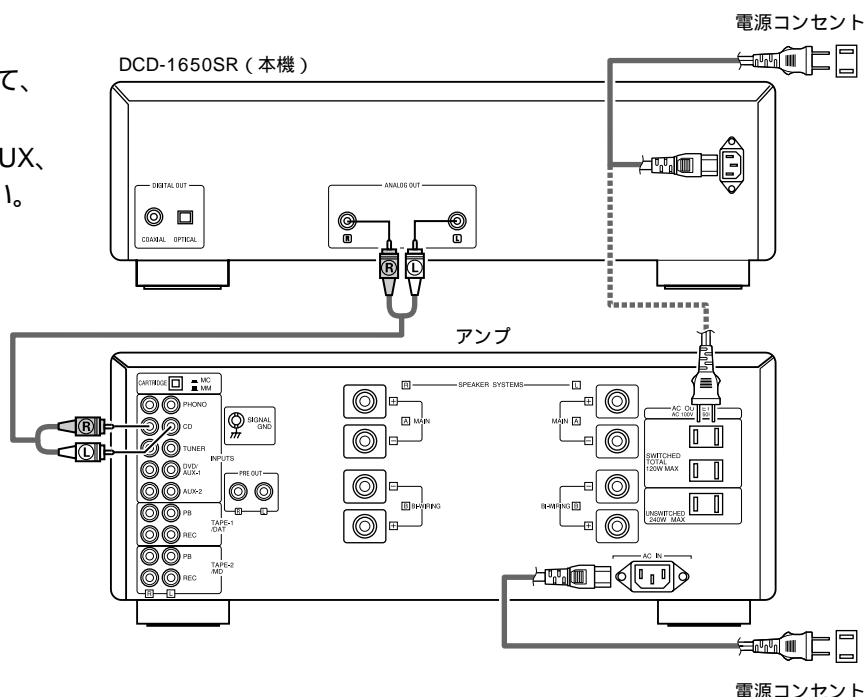
5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

6 接続のしかた

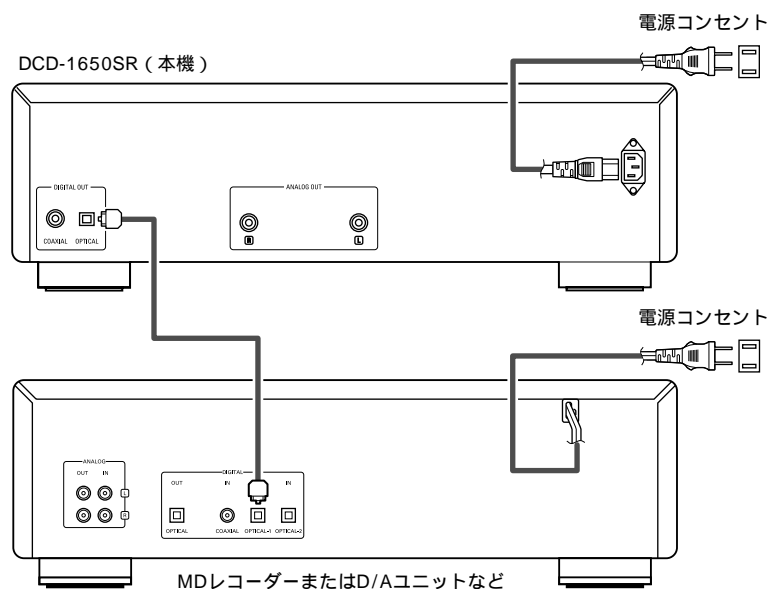
ご注意

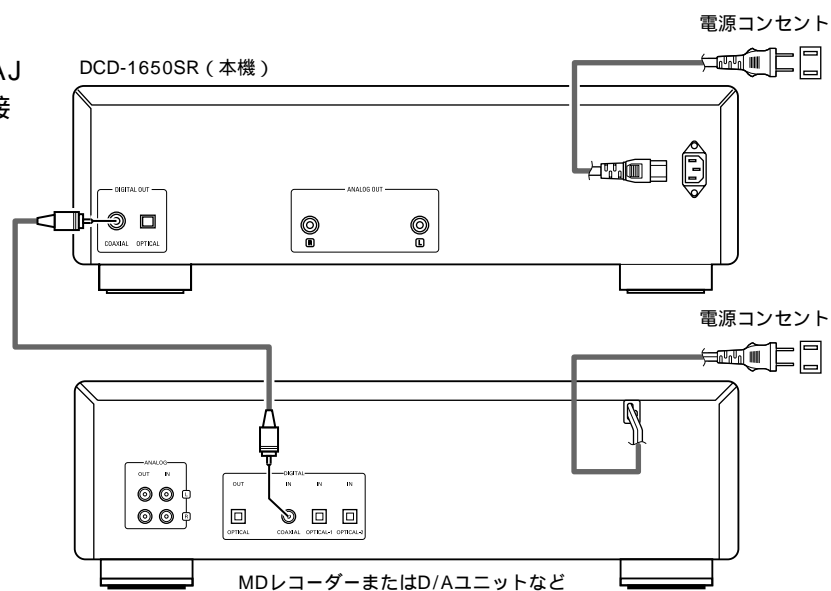
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れたまま接続をおこなうと雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。
不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
- 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因となることがあります。

(1) アナログ出力端子の接続

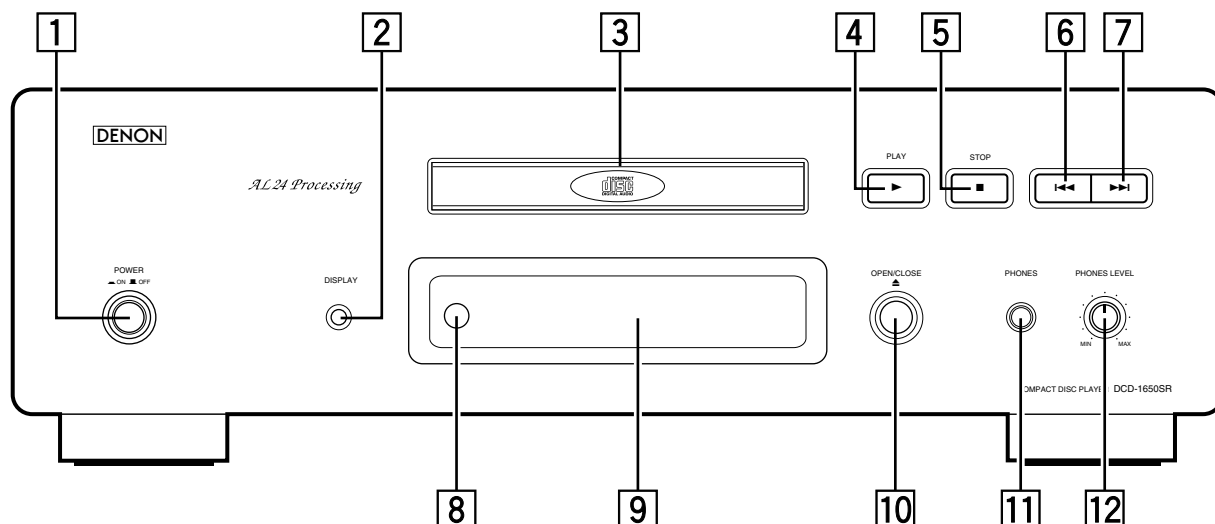
- 付属のピンプラグコードを使用して、右図のように接続してください。
- アンプの入力端子はCD（またはAUX、TAPE PLAY）を使用してください。
- ピンプラグコードは赤がR（右）、白がL（左）チャンネル用です。

接続のしかた（つづき）

（2）デジタル出力端子（OPTICAL）の接続

- 市販の角型光ファイバーコード（EIAJ規格品）を使用して、右図のように接続してください。
- 端子にはキャップがついていますので、このキャップを外し、コードがロックされるまでしっかり差し込んでください。

（3）デジタル出力端子（COAXIAL）の接続

- 市販の75Ωのピンプラグコード（EIAJ規格品）を使用して、右図のように接続してください。

※EIAJ規格：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

1 電源ボタン（POWER）
- 押して『ON』にすると、電源が入ります。
- ディスクが装着された状態で電源を入れると、自動的に演奏を開始します。
- もう一度押して『OFF』にすると電源が切れます。

2 ディスプレイボタン（DISPLAY）
- 表示の明るさを変えるときに押します。
- 1回押すと約2/3の明るさになります。
- もう一度押すと約1/3の明るさになります。さらにもう一度押すと、演奏中は全ての表示が消え、演奏中以外はTRACK No. のみ表示します。

3 ディスクホルダー
- ディスクを装着するところです。
- 開閉するときは、10 ディスクホルダー開閉ボタンを押してください。
- 4 プレイボタンを押しても閉じます。

4 プレイボタン（▶ PLAY）
- ディスクを演奏させるときに押します。

5 ストップボタン（■ STOP）
- 演奏を停止させるときに押します。

6 オートマチックサーチ・リバースボタン（I◀◀）
- ピックアップを後退させ、聞きたい曲の頭に移動させるときに押します。（19ページ参照）
- 演奏中、または一時停止中に押した数だけ曲の頭が後退します。

7 オートマチックサーチ・フォワードボタン（▶▶I）
- ピックアップを前進させ、聞きたい曲の頭に移動させるときに押します。（19ページ参照）
- 演奏中、または一時停止中に押した数だけ曲の頭が前進します。

※ 6、7 のボタンを押し続けると、連続的に動作します。

8 リモコン受光部
- 付属のリモコン（RC-281）をこの受光部に向けて操作してください。
- リモコンを操作すると、リモコン受信表示が点灯します。

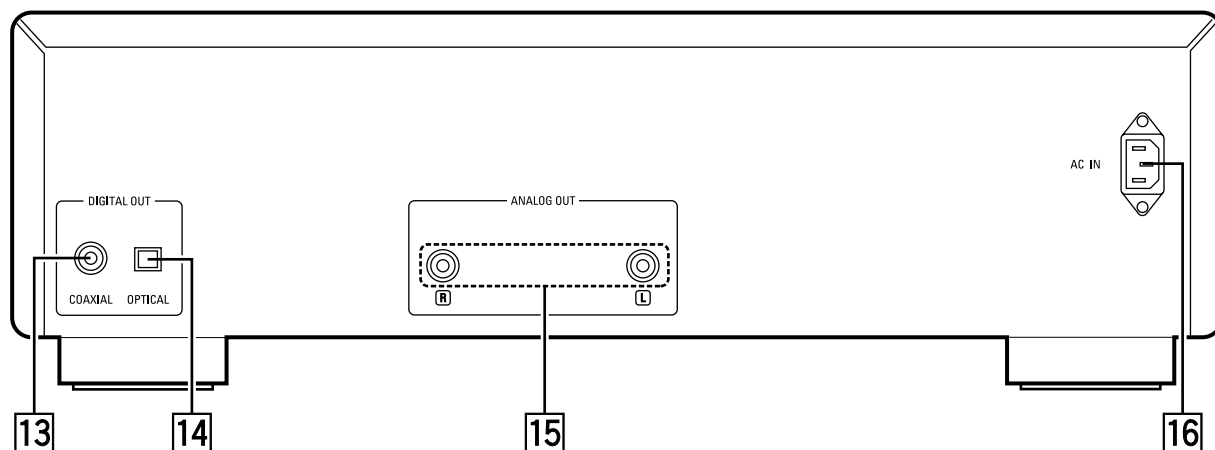
9 ディスプレイ
- 12ページをご覧ください。

10 ディスクホルダー開閉ボタン（⏏ OPEN/CLOSE）
- ディスクホルダーを開閉するときに押します。

11 ヘッドホンジャック（PHONES）
- 別売りのヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。

12 音量調節つまみ（PHONES LEVEL）
- ヘッドホンの出力レベル（音量）を調節するときに使用します。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) リアパネル

13 デジタル出力端子（COAXIAL）

- デジタルデータを出力します。
- 接続できるコードは、EIAJ規格の75Ωのピンプラグコードです。

14 デジタル出力端子（OPTICAL）

- デジタルデータを光で出力します。
- 接続できるコードは、EIAJ規格の角型光ファイバーコードです。

15 アナログ出力端子（ANALOG OUT）

- アンプの入力端子などに接続すると、本機の音声をアンプを通してスピーカーで聞くことができます。

16 電源入力コネクター（AC IN）

- 付属の電源コードを接続します。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

ご注意

- 電源入力コネクターのアース端子（GND）は接続されておりません。

※ EIAJ規格：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

各部の名前とはたらき（つづき）

(3) ディスプレイ

TRACK NO. 表示部

ディスクの情報が正しく読めないとき………00
ディスクがあるとき
- 停止状態 ……………………………………ディスクの収録曲数
- 演奏および一時停止状態 …………………演奏曲の曲番
- プログラム状態 ……………………………プログラム曲の総曲数
- マニュアルサーチで
最内周・最外周に送られたとき ………… CC または JJ

TIME表示部

ディスクの情報が正しく読めないとき………00M00S（17ページ参照）
ディスクがあるとき
- 停止状態 ……………………………………ディスクの収録時間
- 演奏および一時停止状態 …………………演奏曲の経過時間
- プログラム状態 ……………………………プログラム曲の総時間

プログラム演奏時に点灯します。

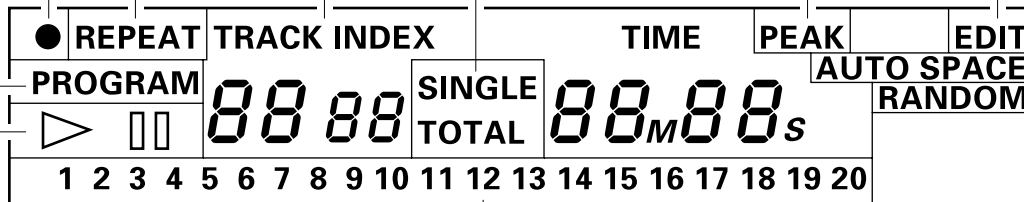
リモコン操作時に点灯します。

リピート演奏時に点灯します。

時間表示の内容を示します。
TOTAL点灯時：全曲残り時間表示
SINGLE点灯時：１曲残り時間表示
※ 1曲残り時間の表示はディスクの1曲目から20曲までに限られています。

オートスペース時に点灯します。

オートエディット時に点灯します。

ピークサーチ時に点灯します。

ミュージックカレンダー表示
- ディスクに収録されている曲のTRACK NO. を最大20曲まで表示します。
- 演奏が終了するたびに、そのTRACK NO. が消灯します。
- プログラム選曲時にはプログラムした曲のTRACK NO.を20曲までを表示します。
- ディスクの情報を正しく読み取れなかったときは、1～20が全点灯します。

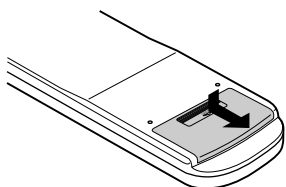
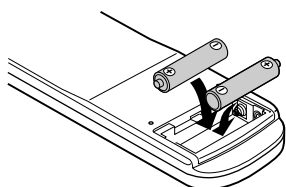
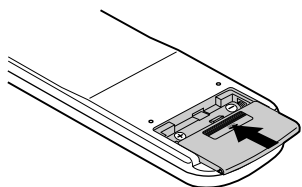
ディスク演奏時に“ ▷ ”表示が点灯し、一時停止時に“ ▯▯ ”表示が点灯します。

ランダム演奏時に点灯します。

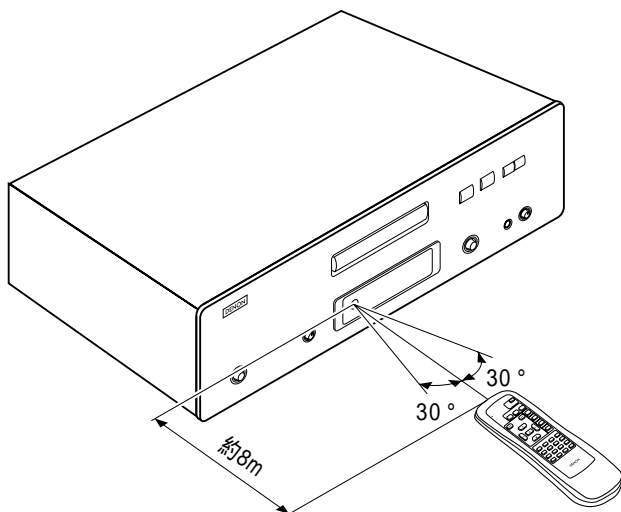
8 リモコンについて

★ 付属のリモコン（RC-281）を使うと、離れたところから本機をコントロールすることができます。

(1) 乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたを外してください。

② 単3乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 新しい乾電池と交換するときはリモコンに使用している乾電池を取り出し、約2分間経過してから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

(2) リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約8m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて（つづき）

(3) リモコンボタンの名前とはたらき

★ 特に説明のないボタンは、本体と同じはたらきをします。

ピークサーチボタン（PEAK）
ディスクのピークレベルを探すときに押します。（24ページ参照）

オートスペースボタン（AUTO SPACE）
曲間に4秒間の無音部を挿入するときに押します。（24ページ参照）

オートマチックサーチ・リバースボタン（I◀◀）

オートマチックサーチ・フォワードボタン（▶▶I）

プレイボタン（▶ PLAY）

マニュアルサーチ・リバースボタン（◀◀）
演奏を早戻しさせるときに押します。（20ページ参照）

ポーズボタン（II PAUSE）
演奏を一時的に止めておくときに押します（18、19ページ参照）

ストップボタン（■ STOP）

マニュアルサーチ・フォワードボタン（▶▶）
演奏を早送りさせるときに押します。（20ページ参照）

テンキーボタン（0〜9）
ダイレクト選曲またはプログラム選曲をおこなうときに押します。

＋10ボタン
10以上の曲を選曲するときに押します。

クリアーボタン（CLEAR）
プログラム内容を変更させるときに押します。

ディスクホルダー開閉ボタン（⏏ OPEN/CLOSE）

オートエディットボタン（AUTO EDIT）
自動編集をおこなうときに押します。（23ページ参照）

ディスプレイボタン（DISPLAY）
表示の明るさを変えるときに押します。
1回押すと約2/3の明るさになります。さらにもう一度押すと約1/3の明るさになります。
さらに押すと演奏中は全表示が消灯し、演奏中以外はトラックナンバーのみ表示します。

タイムモードボタン（TIME）
演奏中または一時停止中に、TIME表示を演奏曲の経過時間・演奏曲の残り時間・残り全曲の残り時間に切り替えるときに押します。（通常は演奏曲の経過時間を表示しています。）

リピートボタン（REPEAT）
リピート演奏をおこなうときに押します。（21ページ参照）

ランダムボタン（RANDOM）
ランダム演奏をおこなうときに押します。（23ページ参照）

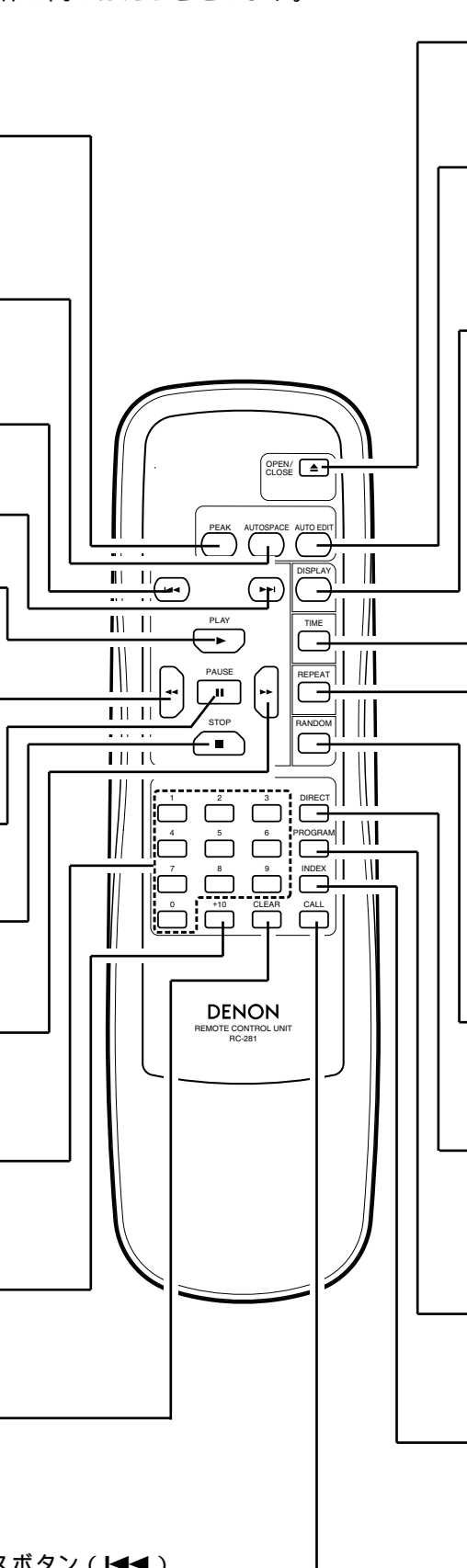
ダイレクトボタン（DIRECT）
プログラムした曲をすべて取り消すときに押します。（22ページ参照）

プログラムボタン（PROGRAM）
プログラム演奏をおこなうときに押します。（22ページ参照）

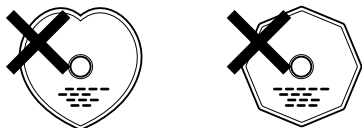
インデックスボタン（INDEX）
曲内のインデックスから聞くときに押します。（18ページ参照）

コールボタン（CALL）
プログラム内容を確認するときに押します。

※オートマチックサーチ・リバースボタン（I◀◀）、
オートマチックサーチ・フォワードボタン（▶▶I）、
+10ボタンは、押し続けると連続的に動作します。

9 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

本機で演奏できるディスクは、
右のマークがついているものです。

ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

CD-R / RW ディスクについて

CD-R/RWディスクは傷や汚れ、および記録状態や記録機器の特性により演奏できない場合があります。また、ファイナライズされていないディスクは演奏できません。

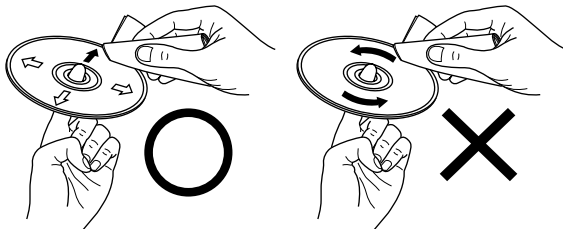
ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いたときは、ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり、音が途切れることがありますので汚れをふき取ってからご使用ください。

■ ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷側）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 演奏後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクをセットする際のご注意

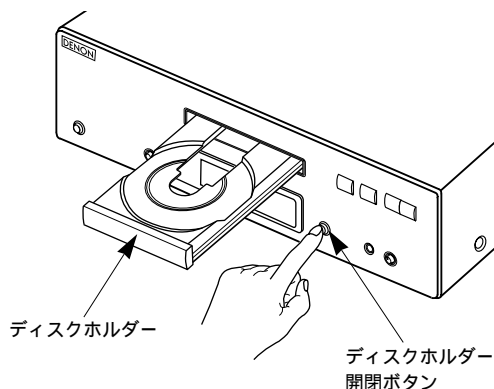
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせてセットしてください。正しくセットされないとディスクが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなることがあります。
- ディスクホルダーが引き込まれるときに指を挟まないように注意してください。
- ディスク以外のものをディスクホルダーに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

10 ディスクホルダーの開閉とディスクの入れかた

（1）ディスクホルダーの開閉

① 電源を入れてください。
② ディスクホルダー開閉ボタンを押してください。

ご注意

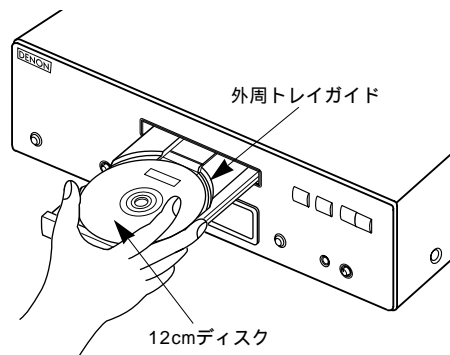
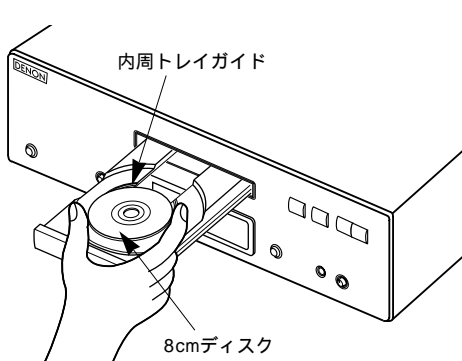
- ディスクホルダーの開閉をするときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などでたたいたりしないでください。

（2）ディスクの入れかた

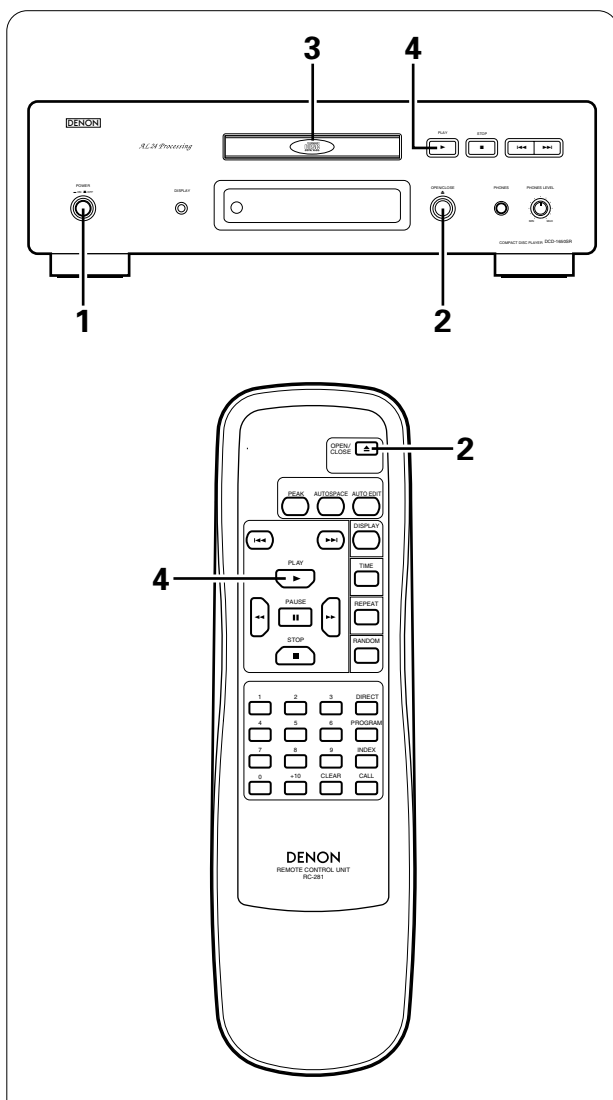
- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクホルダーが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平にのせてください。
- ディスクホルダー開閉ボタンを押すと、ディスクは自動的に装着されます。
- ディスクが装着されると、表示部にディスクの総曲数および総時間が表示され、ミュージックカレンダーが総曲数まで点灯します。
- ディスクホルダーは、プレイボタン、ポーズボタンまたはディスクホルダーを押しても装着できます。
- プレイボタンでディスクを装着したときは1曲目より演奏します。

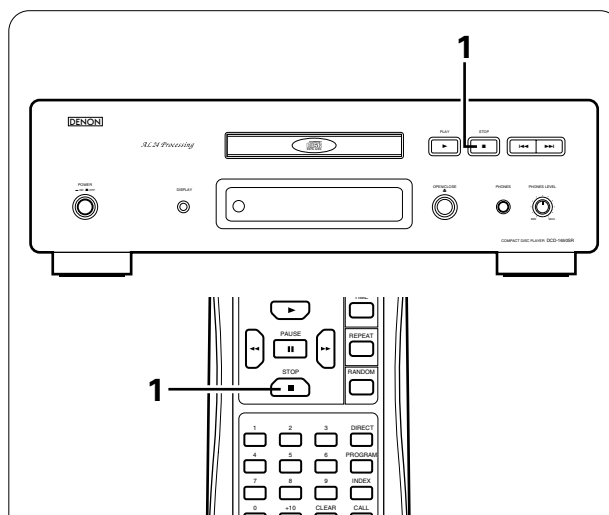
図1

図2

ご注意

- 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずにディスクホルダー開閉ボタンを押してください。
- 電源が切れている状態でディスクホルダーを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクホルダーに異物を入れないでください。故障の原因となります。

11 通常の演奏のしかた

(1) 演奏の始めかた

1	**電源を入れます。**
2	**ディスクホルダー開閉ボタンを押します。**
3	**ディスクを入れます。** ※ディスクに収録されている曲（全曲）の演奏が終わると、自動的に停止します。ディスクの入れかたは、「ディスクの入れかた」（16ページ）を参照してください。
4	**プレイボタンを押します。** ● ディスクの1曲目から最終曲まで、全曲を順番に演奏します。 ※ディスクに収録されている曲（全曲）の演奏が終わると、自動的に停止します。

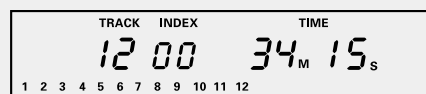
(2) 演奏の止めかた

1	**ストップボタンを押します。** ● 演奏が停止します。

ご注意

● ディスクが無い場合やディスクを裏返しに装着した場合は表示部がゼロ表示となり、ミュージックカレンダーが全点灯します。

TRACK INDEX TIME
00 00 00M00S
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

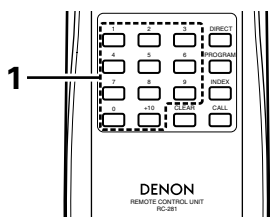
● ディスク最内周の情報をディスクの傷・汚れなどで正しく読み取れなかった場合は下図のようになります。この場合、全曲・1曲残り時間の表示はできません。また、曲の頭出しなどに時間がかかる場合があります。

【正常な場合】

【正しく読み取れなかった場合】

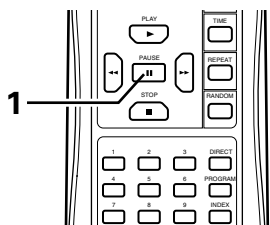
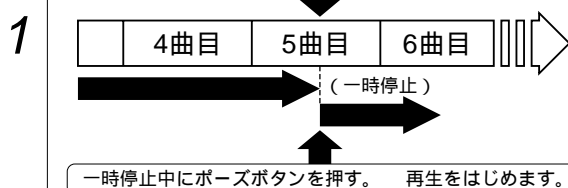
TRACK INDEX TIME
00 00 00M00S
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

● ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

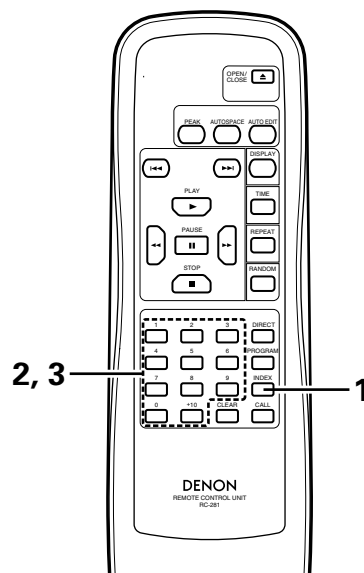
12 いろいろな演奏のしかた

(1) 好きな曲を聞くとき（リモコンのみ）　『ダイレクト演奏』

1 **テンキーボタンおよび+10ボタンを押して、聞きたい曲番を入力します。**
- 例えば、4曲目を聞きたいときは 4、
  12曲目を聞きたいときは +10、2、
  20曲目を聞きたいときは +10、+10、0
  と押してください。その曲から演奏が始まります。

(2) 途中で演奏を一時的に止めておくとき（リモコンのみ）　『ポーズ』

★ 演奏途中で一時止め、再びその位置から聞くことができます。

1 **ポーズボタンを押します。**
- 演奏を一時停止します。

※一時停止した位置から再び演奏を開始させるときは、プレイボタンまたはポーズボタンを押してください。

(3) 曲内のインデックスから聞くとき（リモコンのみ）『インデックスサーチ』

★ 曲の中のインデックス部分を選び、頭出しをおこなうことができます。

1 **インデックスボタンを押します。**
- TRACK No. 表示部に " __ __ " が点灯します。

2 **テンキーボタンおよび+10ボタンで、曲番を入力します。**
- INDEX 表示部に " __ __ " が点灯します。

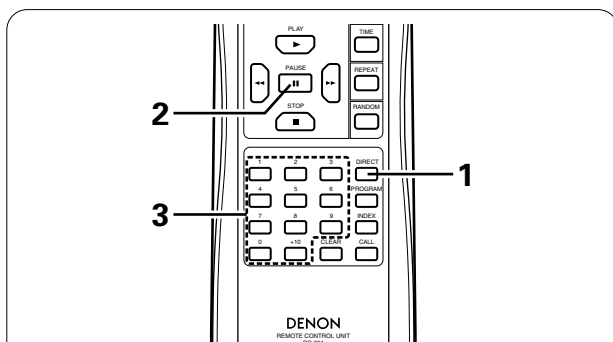
3 **テンキーボタンおよび+10ボタンを押して、インデックス番号を入力します。**
- インデックスの頭から演奏します。
- 例えば、3曲目のインデックス2から聞きたいときは、INDEX、3、2 と押してください。

インデックスについて

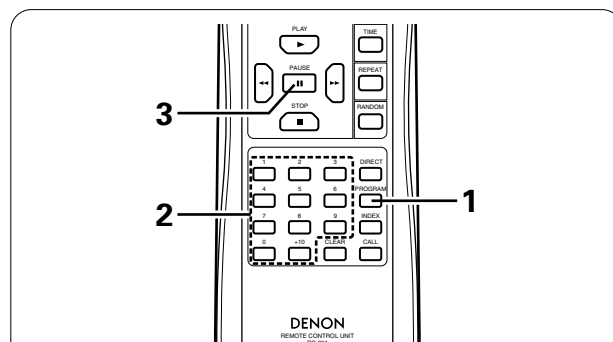
- インデックスとは、一つの曲をさらに細かい部分に分けて番号をつけたものです。演奏する前にディスクの解説書で確かめてください。
- ディスクの解説書にないインデックス番号のインデックスサーチをおこなうと、曲中の最後のインデックス番号を演奏します。

いろいろな演奏のしかた（つづき）

(4) 頭出しをして演奏を止めておくとき（リモコンのみ）　『ポーズ』

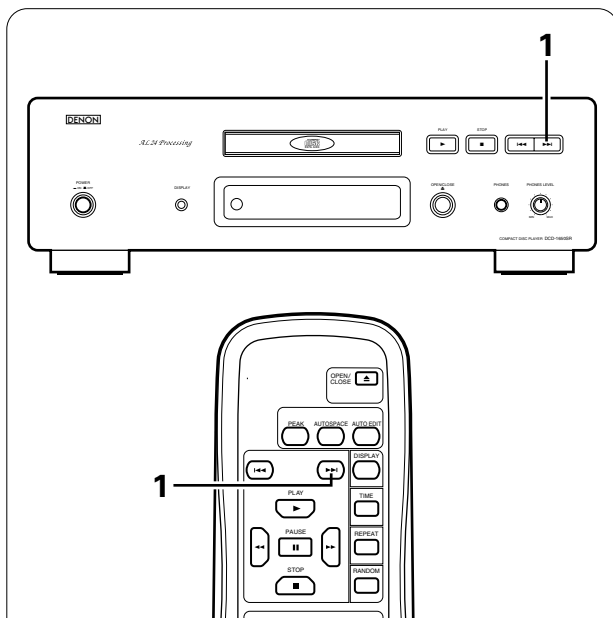
1 ダイレクト演奏による頭出し

1	**ダイレクトボタンを押します。**
2	**ポーズボタンを押します。**
3	**テンキーボタンおよび+10ボタンを押して、聞きたい曲番を入力します。**

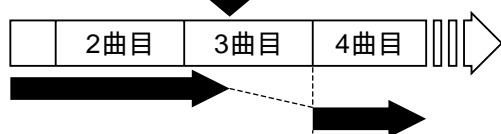
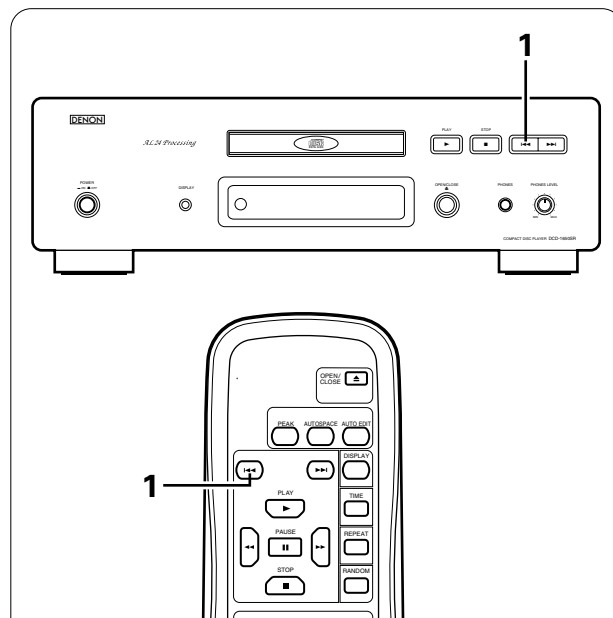
※ 演奏を開始するときは、ポーズボタンまたはプレイボタンを押してください。

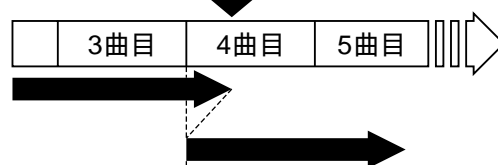
2 プログラム演奏による頭出し

1	**プログラムボタンを押します。**
2	**テンキーボタンおよび+10ボタンを押して、プログラムしたい曲番を入力します。**
3	**ポーズボタンを押します。**

※ 演奏を開始するときは、ポーズボタンまたはプレイボタンを押してください。

(5) 演奏途中で曲の頭出しをおこなうとき　『オートマチックサーチ』

1 次の曲の頭出し

1 **▶▶Iボタンを押します。**

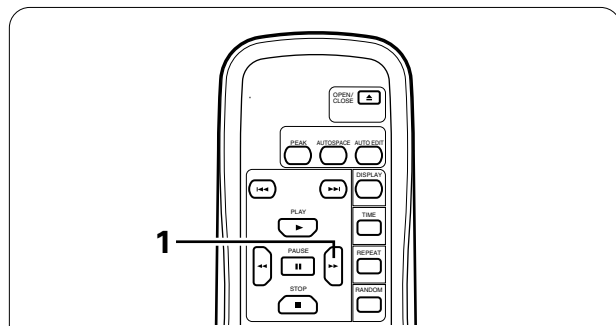
- 選曲動作（サーチ）中、さらに▶▶Iボタンを押すと、次々と後の曲の頭に前進することができます。

2 聞いている曲の頭出し

1 **I◀◀ボタンを押します。**

- 選曲動作（サーチ）中、さらにI◀◀ボタンを押すと、次々と前の曲の頭に後退することができます。

いろいろな演奏のしかた（つづき）

(6) 早聞きしながら好きな曲を探すとき（リモコンのみ）　『マニュアルサーチ』

★ 飛び飛びに早聞きすることができます。
長い曲の中から好きな部分を探し、途中から聞くときに便利です。

1 早送りさせるとき

1

演奏中に►► ボタンを押し続けます。

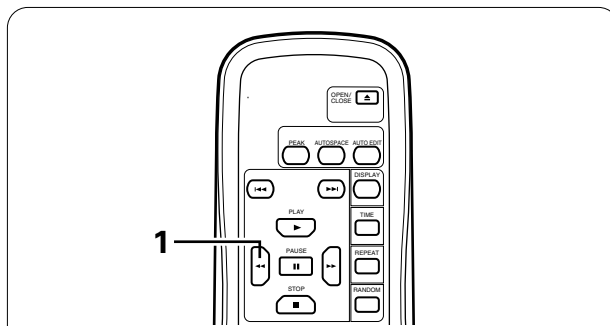
● ボタンから指を離すと、そこから通常の演奏をおこないます。

※ ►► ボタンを押し続けて、収録されている最終曲の演奏が終わると “]] ” が表示されてマニュアルサーチは終了します。

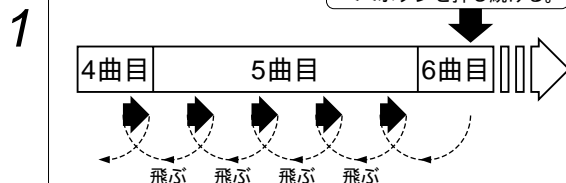
※ 再び演奏をおこなうときは、◄◄ ボタンを押して、“]] ” 表示が曲番表示に切り替わってから他の操作をおこなってください。

※ 音を聞かずに高速早送りをおこなうときは、一時停止中に►►ボタンを押し続けてください。

2 早戻しさせるとき

1

演奏中に◄◄ボタンを押し続けます。

● ボタンから指を離すと、そこから通常の演奏をおこないます。

◄◄ボタンを押し続ける。
4曲目
5曲目
6曲目
飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ

※ ◄◄ ボタンを押し続けて、収録されている最初の曲の頭まで戻ると “ [[” が表示されてマニュアルサーチは終了します。

※ 再び演奏をおこなうときは、►► ボタンを押して、“ [[” 表示が曲番表示に切り替わってから他の操作をおこなってください。

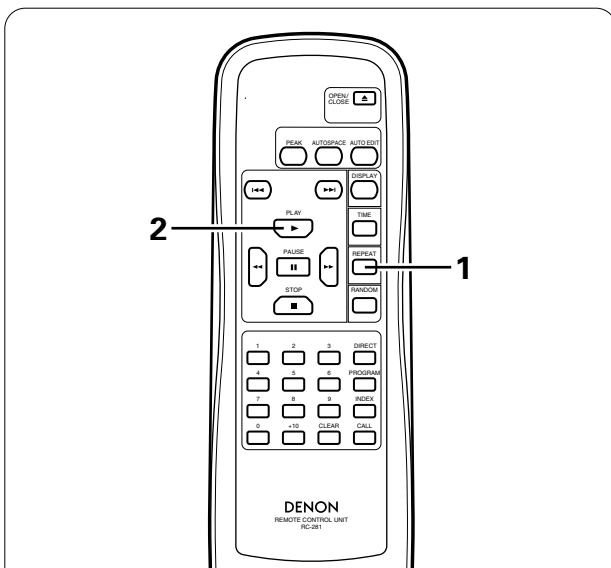
※ ランダム演奏中に◄◄ボタンを押し続けて、現在演奏中の曲の頭まで戻るとマニュアルサーチは終了し、演奏を開始します。

※ 音を聞かずに高速早戻しをおこなうときは、一時停止中に◄◄ボタンを押し続けてください。

ご注意

● マニュアルサーチから通常の演奏に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

(7) くり返して聞くとき（リモコンのみ） 『リピート演奏』

1 全曲をくり返して聞くとき 『全曲リピート演奏』

1 **リピートボタンを1回押します。**
● “ REPEAT ” 表示が点灯します。

2 **プレイボタンを押します。**

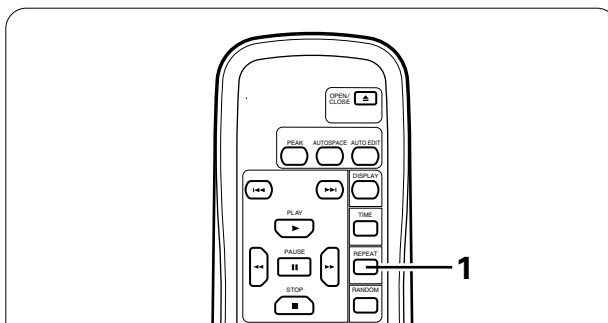
※ 演奏中にリピートボタンを押した場合も、全曲リピート演奏になります。

※ プログラム演奏中にリピートボタンを押した場合は、プログラムした順に演奏をくり返します。

※ 全曲リピート演奏を解除するときは、続けて2回リピートボタンを押してください。

ご注意

● 全曲リピート演奏中に、もう一度リピートボタンを押すと1曲リピート演奏モードになります。

2 1曲のみをくり返して聞くとき 『1曲リピート演奏』

1 **演奏中にリピートボタンを2回押します。**
● “ REPEAT ” 表示、およびミュージックカレンダーにそのトラックナンバーが点灯（トラックナンバーが20以下の場合）し、その曲を繰り返し演奏します。

※ 停止状態でリピートボタンを2回押すとミュージックカレンダーのトラックナンバー1が点灯し、1曲のみリピート演奏可能状態になります。演奏はプレイボタンを押すと始まります。

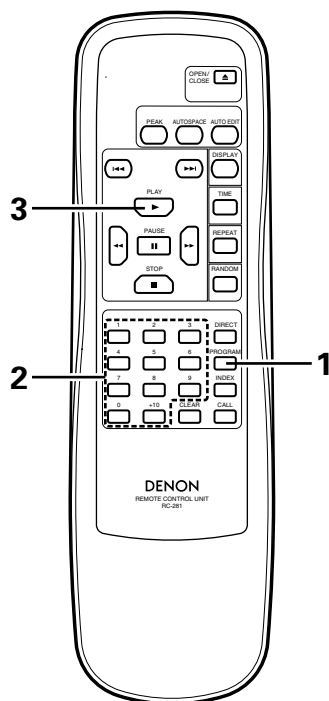
※ 1曲リピート演奏を解除するときは、もう一度リピートボタンを押してください。

ご注意

● トラックナンバーが21以上の場合、カレンダーは点灯しませんが1曲リピート演奏はできます。

(8) 聞きたい曲を好きな順番に聞くとき（リモコンのみ）　『プログラム演奏』

★ ディスクに収録されている曲の中から聞きたい曲を選び、好きな順番に聞くことができます。
最大20曲までプログラムすることができます。

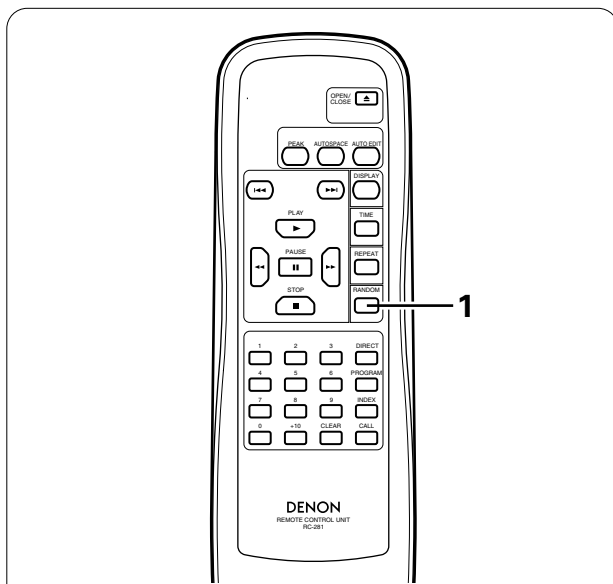
1	**停止中にプログラムボタンを押します。** ● “ PROGRAM ” 表示が点灯します。
2	**テンキーボタンおよび+10ボタンを押して、プログラムしたい曲を入力します。** ● 例えば3曲目、12曲目、7曲目とプログラムしたい場合は、[PROGRAM]、[3]、[+10]、[2]、[7]と押してください。
3	**プレイボタンを押します。** ● プログラムした順に演奏します。

※ プログラム内容を確認するときは、リモコンのコールボタンを押してください。1回押すごとにプログラムした内容が順次ディスプレイに表示されます。
※ プログラム内容を変更するときは、停止中にクリアーボタンを押して、希望する曲をプログラムしてください。最後にプログラムした曲が希望する曲に変わります。
※ プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にダイレクトボタンまたはディスクホルダー開閉ボタンを押してください。
※ プログラム演奏中にダイレクトボタンを押すとプログラムは解除され、現在演奏中の曲から最終曲まで連続演奏します。

ご注意

- 演奏中または一時停止中にプログラム操作をした場合は、1曲目に現在演奏中の曲がプログラムされます。この状態でさらにプログラムの追加ができますが、プログラム曲数や演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏中、ダイレクト選曲はできません。テンキーボタンを押すことにより、その曲番がプログラムの最後に追加プログラムされます。
- ディスクホルダーを開いた状態でもプログラムすることができます。この場合、ディスクに収録されていないプログラム曲番は演奏を開始すると、自動的にプログラムより抹消されます。
1曲残り時間の表示は、ディスクの1曲目から20曲目までに限られます。
- 21曲目以降の曲番をプログラムした場合、プログラム総時間とプログラム残り時間は表示されません。

いろいろな演奏のしかた（つづき）

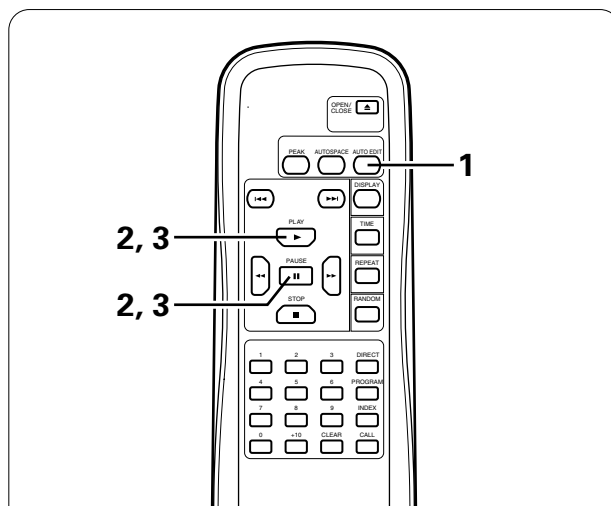
(9) 順不同に聞くとき（リモコンのみ）『ランダム演奏』

★ディスクに収録されている曲をランダム（無作為）な順序で1回ずつ聞くことができます。

1	**ランダムボタンを押します。** ●“ RANDOM ”表示が点灯します。 ◎通常演奏時： 自動的にランダム演奏します。 ◎プログラム演奏時： プログラムした曲の中でランダム演奏します。 ◎リピート演奏時： 一通りのランダム演奏後、毎回違ったパターンでランダム演奏します。

ご注意

- ランダム演奏中、全曲残り時間表示はできません。
- オートエディット動作中、ランダム演奏はできません。

(10) 自動編集をおこなうとき（リモコンのみ）『オートエディット』

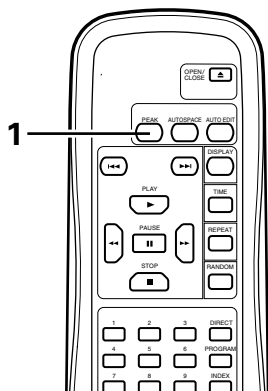
★ディスクの総演奏時間の1/2に最も近い曲番の頭でA面・B面に分け、自動的にプログラム演奏します。

1	**停止中にオートエディットボタンを押します。** ●A面の総演奏時間と曲番が約2秒間表示され、次にB面の総演奏時間と曲番が同様に表示されます。その後自動的にA面の1曲目の頭で一時停止状態となり、“ EDIT ”表示が点灯します。
2	**プレイボタンまたはポーズボタンを押します。** ●A面の1曲目から演奏します。 ●A面の演奏が終わると、B面の1曲目の頭で自動的に一時停止します。
3	**プレイボタンまたはポーズボタンを押します。** ●B面の1曲目から演奏します。 ●B面の演奏が終わると、自動的に停止します。

※オートエディットを解除するときは、ストップボタン、ディスクホルダー開閉ボタン、またはダイレクトボタンを押してください。また、ストップボタンでオートエディットを解除したときは、プログラムモードは解除されません。

ご注意

- 21曲以上収録されているディスクでは、オートエディットは動作しません。
- オートエディット中、ダイレクト選曲はできません。
- ディスクに記録されている総演奏時間と曲の合計時間とに差があるため、停止時の時間表示（総演奏時間）とオートエディット時のA面の時間とB面の時間を合計した時間とが異なる場合があります。（約2秒）

（11）ディスクのピークレベルを探すとき（リモコンのみ）　『ピークサーチ』

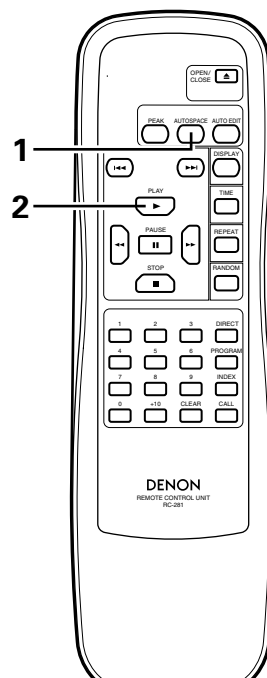
★ ピーク部分を探し、その前後数秒間の演奏をくり返します。テープなどの録音レベル調節に便利です。

1	**停止中にピークサーチボタンを押します。** ● “ PEAK ” 表示が点滅し、レベルのピーク部分をサーチします。 ● サーチ後 “ PEAK ” 表示が点灯し、ピーク部分の前後数秒間の演奏をくり返します。

※ ピークサーチ中またはピークをくり返し演奏しているときに、プレイボタンまたはポーズボタンを押すと、1曲目（プログラム時はプログラムの1曲目）を頭出しし、プレイボタンなら演奏を開始し、ポーズボタンなら一時停止状態となります。

※ ピークサーチを解除するときは、ストップボタンを押してください。

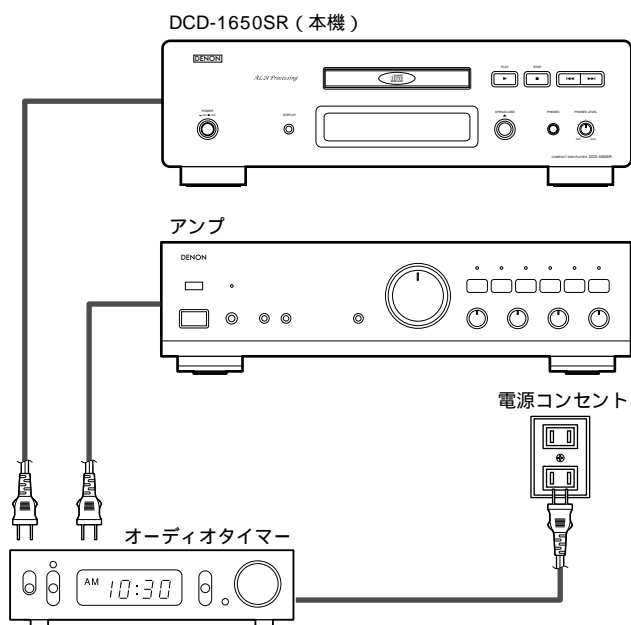
ご注意

- ピークサーチは、ディスクのレベルを最初から終わりまで一定の間隔で読み取り、その中の最大値をピークとしています。そのためピークサーチには多少時間がかかります。また、読み取るたびにピーク部分が変わることがあり、実際のピークレベルと多少異なることもありますが、その差はわずかですので録音レベルの調整にはほとんど支障ありません。
- ピークサーチ中またはピークをくり返し演奏している間、ディスクホルダー開閉ボタン、プレイボタン、ポーズボタン、ストップボタン以外のボタンは動作しません。

（12）曲間に無音部を挿入するとき（リモコンのみ）　『オートスペース』

1	**オートスペースボタンを押します。** ● “ AUTO SPACE ” 表示が点灯します。
2	**プレイボタンを押します。** ● 各曲の演奏が終わると、次の曲との間に約4秒間の無音部を挿入します。

※ オートスペースを解除するときは、もう一度オートスペースボタンを押してください。

13 タイマー演奏のしかた

(1) 接続のしかた

(2) 操作のしかた

1	**接続した各機器の電源を入れます。**
2	**アンプの入力切り替えボタンを『CD』に切り替えます。**
3	**本機にディスクを入れます。**
4	**現在時刻を確認し、オーディオタイマーを希望時刻にセットします。**
5	**オーディオタイマーを『ON』にします。** ● オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。 ● 希望時刻になると自動的に各機器の電源が入り、1曲目から演奏します。

14 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ **各接続は正しいですか**

■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	原　　因	処　　置	関連ページ
ディスクホルダーが開閉しない。	● 電源が入っていない。	● 電源を入れてください。	16
ディスクを入れても全表示が“ 00 ”になる。	● ディスクが正常に装着されていない。 ● 録音されていないCD-RディスクまたはCD-RWディスクが装着されている。 ● ファイナライズされていないCD-RディスクまたはCD-RWディスクが装着されている。	● ディスクを入れ直してください。 ● 録音されているCD-RディスクまたはCD-RWディスクと取り替えてください。 ● ファイナライズされているCD-RディスクまたはCD-RWディスクと取り替えてください。	16 15 15
プレイボタンを押しても演奏しない。	● ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れをふき取るか、他のディスクと取り替えてください。	15
音が出ない。または歪む。	● 出力コードが正しくアンプに接続されていない。 ● アンプの調節・切り替えが不適切である。	● 接続を確認してください。 ● アンプのつまみ類を調節してください。	8、9 ―
ディスクの指定場所が正常に演奏できない。	● ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れをふき取るか、他のディスクと取り替えてください。	15
プログラム演奏ができない。	● プログラム方法が違っている。	● もう一度最初からプログラムしてください。	22
リモコンを操作しても正常に動作しない。	● 乾電池が消耗している。 ● 本機とリモコンが離れ過ぎている。	● 新しい乾電池と入れ替えてください。 ● 本機にリモコンを近づけてください。	13 13
デジタル出力端子からデータが出力されない。	● コードが正しく接続されていない。	● 接続を確認してください。	9

15 主な仕様

■オーディオ	
チャンネル数	2チャンネル
周波数特性	2Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	100dB
S　N　比	118dB
高調波ひずみ率	0.0018%（1kHz）
セパレーション	110dB
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001% W.peak）以下
出力電圧	FIXED2.0V
■使用ディスク	コンパクトディスク （CD-DA、ファイナライズ済み民生用音楽録音用CD-R/RW）
直径	120mm / 80mm
■信号フォーマット	
標本化周波数	44.1kHz
量子化数	16bit リニア/チャンネル
伝送ビットレート	4.3218Mb/秒
■デジタル出力信号フォーマット	
フォーマット	DIGITAL AUDIO INTERFACE
COAXIAL出力電圧	0.5Vp-p/75Ω
OPTICAL光出力	－15dBm～－21dBm
発光波長	660nm
■ピックアップ	
方式	対物レンズ駆動方式光ピックアップ
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm
■総合	
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	17W
外形寸法	434（幅）×135（高さ）×340（奥行き）mm （フット、ツマミ、端子を含む）
質量	12.7kg
■リモコンユニット	RC-281
リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3V　R6P（単3形）乾電池2本使用
外形寸法	68（幅）×233（高さ）×20（奥行き）mm
質量	160g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。